



# 男体

第52号  
平成19年9月1日発行

## One World One Promise (ひとつの世界・ひとつのちかい) 100周年記念 21st World Scout Jamboree



栃木派遣隊、ひとつの世界を体現、感動の12日間！

第21回世界スカウトジャンボリーが今年の夏、スカウト運動発祥の地イギリスで開催されました。

今回の世界スカウトジャンボリーは、バーデン・パウエル卿が初めてのキャンプを行ってから100周年に当たるため、ボーイスカウト史上最多の155の国と地域より、史上最大規模の40,000人のスカウト・指導者が集まりました。

大会のメインである8月1日のサンライズディ（スカウティング新世紀）には、日の出と共にセレモニーがスタート。参加スカウト全員が特別のネッカチーフに100人のサイン交換を行い、「ひとつの世界・ひとつのちかい」を体現いたしました。

またこのサンライズディはあらかじめ世界中に配信され、世界中でこの歴史的な日の出の瞬間に太陽に向かい、「ひとつの世界・ひとつのちかい」を誓い合いました。

この歴史の1ページに参加した栃木派遣隊は12日間のキャンプ生活やさまざまなプログラムを通して、言葉・文化・習慣・食べ物・歌・宗教・ユニフォームなどの違いを肌で感じると共に、世界中のスカウトと交流を果たしました。

### なんたい写真館

シャボン玉だ～いすき♪  
こんな大きなのが  
できたよ♪♪  
今市2団 ピーパー隊

写真募集中！！写真の応募等は  
8ページを見てください。



目次	
21WS J]に行ってきました	2・3
富士チャレンジキャンプ	3
夏の思いでコーナー	4・5
東部地区指導者講習会	6
菊章 受章	6
カブラリー情報	7
出ちやいました…	7
HPリニューアル	8
なんたい写真館より	8
信仰のたしなみ	9
事務局のうごき	10

## 世界ジャンボリーに行ってきました！

私は、今回の世界ジャンボリーに参加して、ボーイスカウトの輪の中で、国や言葉の壁を越えて一人のスカウトとして世界のスカウトと交流を深めることができたことを、とても嬉しく思っています。

プログラム以外でも、サッカーやトランプをして、自然と親しくなることができました。その事を通して、自分が日本のスカウトとしてだけでなく、世界のスカウトの一員だという事に気付かされました。

そして、スカウト活動100周年の発祥の地である、ブラウンシー島の地に立てた事を感謝しています。

鹿沼第4団 駒場 士朗



第21回世界ジャンボリーに参加し、世界中のスカウトたちと交流を深めることができました。国はもちろん、言葉や文化、肌や目、髪の色など、多くのことが違っても、皆同じ「ボーイスカウト」の仲間。様々なプログラムを通して、すぐに仲良くなることができました。

今回学んだことは、言葉の重要性です。僕はジャンボリー期間中、相手は何を言っているかわかるのに、英語で答えられないと言うことが何度もあり、英会話の勉強の必要性を痛感しました。言葉が通じれば、お互いにもっと意思の疎通を図ることができたと思います。

世界ジャンボリーで感じたこと、学んだことは、きっと大人になっても忘れないと思います。ジャンボリーへの参加を支えてくれたすべての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

塩谷第8団 古口哲

ジャンボリーを終えて日本に帰って来た時、疲れたという思いよりまた行きたいなあという思いが強かった。

大会参加中は、英語も全然通じなく大変なのに、一日中強い日差しの中、会場を歩いて回ってきついなと思うこともあったけど、また行きたいと思えたのは自分でもよくわからないけど、何か世界ジャンボリーでしか感じられないことを感じたのだと思う。

一年後、もっともっと英語を勉強して、中三で行った世界ジャンボリーとはまた違ったジャンボリーを見つけていきたい。

那須第7団 東原 寛明



僕は、今回の世界ジャンボリーに参加することができて、とても良い体験をすることができたと思います。

それは、僕にとって英語を話すという機会が少ない上に、外国の人とコミュニケーションをとることのできる機会なんて、めったにないことだからです。

なので、同世代の人達と英語であいさつができたり、ゲームができたり、サッカーができたりと、将来の自信に繋がる体験ができたことに、とても感謝しています。

僕がこのような体験をする機会がまたあるのなら、ぜひ自分の世界を広げていきたいと思っています。

那須7団 山本 玄人

世界ジャンボリーには、いろいろな人が参加していました。僕は世界の文化が学びたくて行きました。それを香港の人々を通して交流できました。

まず仲良くなりました。次に日本語で、その人の名前を書いてあげ、日本語を教え、中国語を教えてもらいました。その人は日本語を勉強していて、少し知っていました。

開会式と閉会式は、とてもよかったです。

開会式は暑いと言いながら臨み、閉会式は雨のなか臨みました。特に閉会式の方がよく憶えています。理由は何か国かの人々が、その国の伝統的な出し物をしてくれたからです。

最後に僕は、この世界ジャンボリーに参加できてとてもよかったです。

那須第7団 堀江 恭平

私は、この21WSJに参加するにあたって、あまり英語が得意ではなかったのに、他の国の人々としっかりとコミュニケーションがとれるか、とても心配でした。

しかし、うまく言葉で説明できなくても、少しの勇気とスカウト活動があれば、協力し合うこと、力を合わせてプロジェクトを実施することができるのが分かり、スカウト運動の偉大さにビックリしました。

これらのことを通して、「スカウトはみな友達だ」という言葉は本当なんだと実感しました。

佐野第4団VS隊 白澤 和朗



今回の21WSJは日本派遣団より連日インターネットで日本へ配信され、大会の様子がとてもリアルに伝わり大変興味深いものでした。

一例では4万人の会場は端から端まで徒歩約1時間、メイン会場の舞台は昨年の日本ジャンボリーの4倍の大きさ、栃木のサイトからスカウトショップまで片道20分、ショップは常に30～1時間待ちの状態だったようです。

また、開会式では世界中のスカウト代表の入場行進が2時間近く続き、自国の入場では各国スカウトのウエーブが起きるなど、これぞまさしくスカウティングユートピアの瞬間だったのではないのでしょうか？

最後にこの感動を栃木のスカウトに一人でも多く伝えてほしいと思います。そして4年後の22回世界スカウトジャンボリーはスウェーデンです。次はあなたの番・・・

※ 派遣隊の出発直前、7月19日に、栃木県知事公館に於いて連盟長でもある福田富一知事より「栃木県連盟のスカウト代表として、しっかり国際交流を果して来て下さい」との激励を受けました。

→ 7ページに掲載された新聞記事があります。

## 富士チャレンジキャンプ

### 山中に感謝・感謝

8月14日(火)～20日(月)の7日間、ボーイスカウト日本連盟山中野営場に於いて、世界スカウト運動創始100周年記念事業「富士チャレンジキャンプ」が行われました。

100周年にあたり、スカウト教育の原点を振り返り今後の飛躍を期待して付けられた大会テーマ「ルネッサンス オブ スカウティング (スカウティングの復興)」スカウティングの基本である野外活動を通じた人格形成の方法を正確に次世代へ受け継いでいき、ベンチャー部門にも班制教育をとりいれるという大会趣旨でキャンプが行われました。

プログラムは、設営技能・救急法・信号法・野帳の講習を経て、パイオニアリング・1泊ハイキングと盛りだくさんで、スカウト達は時間に余裕が無いくらいでした。

全国から集まったスカウト達と直接ふれあえたことはとても良い経験になりました。皆それぞれの思いを胸に参加してきました。最初は打ち解けられなかったスカウトも徐々に仲間同士の絆ができてきて最終夜には夜通し話していたいくらいの様子でした。



山中で出会ったスカウト達が、良き先輩として後輩にスカウティングを伝え、受け継いでいってくれることを願っています。

プログラムのメインであったパイオニアリングは栃木県の協力があつたからこそ成功したと大会本部は喜んでいました。奉仕して下さった方々に感謝します。今回の経験を生かし、さらにスカウティングに励んでいこうと思います。

富士チャレンジキャンプ2地区第5隊副隊長  
杉本万里子 (宇都宮第13団)



筏制作・山中湖横断



自動開閉橋



パイオニアリング模型



ピラミッド塔

## 水源の森に集う！

8月25・26日と1泊2日、群馬県水上の水源の森にて、今市2団のビーバー・カブ・ボーイ・ベンチャー総勢100名の合同舎営(ボーイ・ベンチャーはテント)訓練が行われました。

8月末、今年はまだまだ県内は夜中でも30度を越える猛暑が続いていましたが、この森では夜は寒く、テントで過ごしたスカウト達も久しぶりに快適な夜を過ごしました。

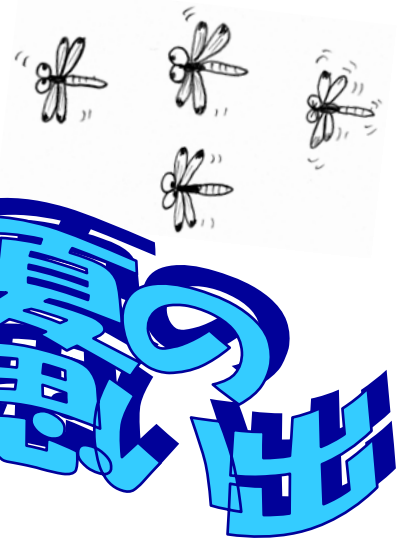
夜には今市2団合同でキャンプファイヤーを行い、育成会長ふんする山の神よりもらった火で点火式を行い、皆の健康・友情を誓いました。

今市第2団 ボーイ隊副長 福田 睦夫



←ダムを下りてきました。(奈良俣ダム)

↓ダムを造ったときのブルドーザーのタイヤです。



## 栃木第1団 カブ隊夏舎営

夏休みも終わりに近い8月25・26日、一泊二日で栃木第一団のカブ隊が舎営訓練を行いました。

今回の拠点、オオシマフォーラムさんが運営するモンゴリアビレッジ・テングルです。

当日、なんと送迎バスの運転手さん自らモンゴルの民族衣装「デール」を着て登場。「サンバイノー！（こんにちは）」の挨拶に、スカウトたちはビックリ！

テングルでは、まず、「オボー」という祈りの場に各自拾ってきた石を積み上げて入村の儀式を行い、各組ごとにモンゴルの移動式テント「ゲル」に入りました。内装にも本物のモンゴルの家具を使っているため、スカウトたちは大興奮。

特に盛り上がったのは、「シャガイ」というヒツジの後ろ脚の骨を使ったゲームでした。さすがにスカウトたちはルール飲み込みが早い！あっという間に覚えて各組で勝負が白熱しました。



その後、夕食のバーベキュー（「ホーミー」全モンゴル優勝経験者による生ライブつき）で盛り上がり、キャンプファイヤーで盛り上がり、露天風呂でも盛り上がり、スカウトたちは遊び疲れたのかすぐに眠ってしまったようです。

二日目は、まずシャガイゲームの優勝者を決めるトーナメント戦を行いました。前日に引き続き、DLや保護者も巻き込んでの激戦となりました。

続いて、テングル内の様々な模様を探してくるゲーム。目立たない模様も入れておいたのですが、結構あっさり見つかってしまいました。さすが「観察と推理」がよくできていますね。

二日間、天気にも恵まれ、すばらしい環境で活動できたことは、スカウトたちにとっても大人にとっても、よい思い出になったと思います。

栃木第1団 カブ隊副長 岸 建吾

## エンジョイカヌーin那珂川

8月16日～19日100周年記念北部地区合同キャンプ大会開催。ボーイスカウト&ガールスカウト合同キャンプでテンション全開の夏でした。

暑かった2007年夏、泳いだ！ 漕いだ！ 解体した！ 打った！ 盛り上がった！ 感謝した！

作って役に立った！・・・

さて、これらの言葉は何をしたものでしょうか？

(答えは下に)

最後になまずになった思い出のなまずっこ???

ニョロロロロ～ン！

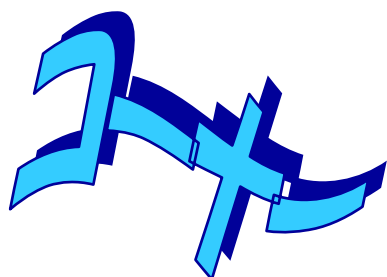


カヌー教室講師：栃木カヤックセンターin鳥山 講師の高橋さんは元フリースタイルカヤックスクォートボート部門日本代表です。

あなたの隊でもカヌープログラムはありますか？夏はサイコーですよ！ ご連絡ください

那須第7団 東原 勇二

(答え：左から順に、川・カヌー・にわとり・そば・大營火&花火・宗教儀礼・流しそうめんの台)



## 夏の思い出～ 県民の森 (矢板市)

宇都宮第15団・夏季キャンプ ～カブ隊はフルメンバー33名参加～

[ボーイ隊8/2～5 カブ隊8/3～5 ビーバー隊8/4～5]

キャンプ場内に川が流れており、ローバーが沢ガニを見つけてきた。調理される運命の沢ガニも心やさしいスカウトのひとつで元に戻され命拾い！

リーダー特設 (手作り冷水) シャワーも人気！

ボーイ隊は「みつもち山」の登山初体験、苦しかったけど「最高～！」

自然環境に恵まれたすばらしいキャンプ場でした。(高嶋)



●工作はナイフでパチンコを作りました。ナイフの使い方など勉強になったし、ボーイスカウトのキャンプのなかで宝物になりました。

親子井作りは、みんなで料理を作るため、ゆずり合うことを学びました。～(中略)～きずなが深まったと思います。

カブ1組くま 保田 恵里香



●あんなに星を見たのは初めてでした。北斗七星やカシオペアや夏の大三角形などはっきり見えました。

～(後略)～

カブ4組しか 金澤 理貴



●今回は、ボーイ隊最後のキャンプになってしまいました。～(中略)～虫めがねで火を起そうとしてみたけど予想通り起きませんでした。けれど、みんなと楽しく活動できたし最高の仲間達とのいい思い出ができました。

ボーイ隊 守 雅江

## 東部地区指導者講習会

8月26日(日)宇都宮市南生涯学習センターにて、久保正主任講師のもと東部地区の指導者講習会が開催されました。

参加者は11名でゲーム等を取り入れ和やかな雰囲気の中で受講していました。これから各団にて、ますますご活躍されることを期待します。



指導者講習会を終えて

8月26日(日)指導者講習会に参加した。

以前からボーイスカウトの活動に協力していたので、活動内容については少々理解していたが、スカウト教育の原理や年代別の一貫したプログラムなどについて学ぶことができ、より知識が深まった。

他人と競うのではなく、自分を高め生きる力をつけるスカウト活動をこれからもできる範囲の支援をしていきたいと思う。

宇都宮第15団 石川 明美



## 菊章 受章

7月28日に、宇都宮市豊郷地区市民センターにて、東部地区の菊章面接がありました。

今回菊章を修得したのは宇都宮1団の加藤修平さんと宇都宮15団の守雅江さんの2名です。

2人とも中3で、現在ベンチャー隊に上進していますが、今後ベンチャースカウトとしてますます活躍されることを期待しています。



左から 和良品隊長・守さん・加藤くん・上久保隊長

## 広告掲載募集中

男体に掲載の広告を募集しています。  
詳細は、県連事務局までお問合せ下さい。

### 《広告》

丸いゲルで仲間と顔を見合わせながら語り合う。  
絆を深め異文化体験もできる場所「テンゲル」  
スキーや雪上活動にも！

1泊2食 ¥6,300~  
【原、活動場所への送迎有】

テンゲルはボーイスカウト栃木県連盟の事業に協賛しています。

モンゴリアビレッジテンゲル  
那須郡那須町大字高久丙1577-9  
http://www.nasu-forum.co.jp  
tel:0287-76-6114

有限会社 酔心  
酔心 suisin in ぱるてい

宇都宮市野沢町4番地1 〒320-0071  
パーティとちぎ男女共同参画センター1F  
TEL(028)666-1331・FAX(028)666-1332

各種弁当承ります。

酔心は、ボーイスカウト栃木県連盟の事業に協賛しています。

## 第38回栃木県カブラリーの開催予告

### カブスカウトあつまれー！！ テーマ「天までとどけ」

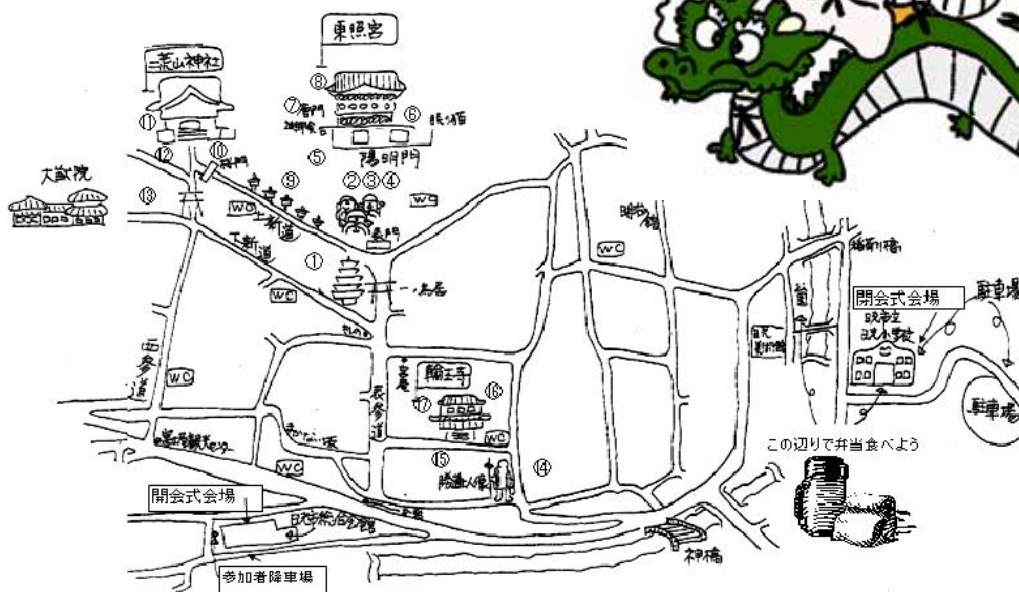
第38回栃木県カブラリーが、10月21日（日）に開催されます。同時に第16回「とちぎ教育の日」の協賛事業として、また、世界スカウト運動創始100周年事業の一環として、世界遺産にもなっている日光市の「日光東照宮」「日光山輪王寺」「日光二荒山神社」の周辺で行います。

テーマは、「<sup>てん</sup>天までとどけ」です。さて、そこには、いろいろな<sup>かみ</sup>神さまや<sup>ほとけ</sup>仏さまがいます。また、<sup>かみ</sup>神さまや<sup>ほとけ</sup>仏さまといっしょにさまざまな<sup>どうぶつ</sup>動物もいます。

それらを見つけ出して“なに”が<sup>てん</sup>天までとどくのでしょうか？

<sup>ぼうけん</sup>冒険の旅にレッツゴー！！

### 日光山内案内図 (世界遺産)



## ぼく（わたし）出ちやいました。・・・募集中

下野新聞 2007年7月20日（金）社会面



各団や地区でのBS活動またはそれ以外でのことでも何でもOK！新聞やミニコミ誌・テレビなどに出演・掲載等（出ちやいました）を募集（自薦他薦を問わず）しています。もっとみんなに知ってもらうた

めに、「男体」や「ホームページ」に掲載します。

新聞や地域の広報誌等への掲載がありましたら、掲載誌を県連「男体」宛にお送りください

**談話室**

○「世界」規模のボーイスカウト キャンプ大会 世界大会

○「ボーイ」イスクウト発祥の英国のスカウトと交流したいと方々 強く抱負を述べた佐野高二年の白沢和朗君（こ）は「唯一の心配は英問ですね」。

○「四年に一度の開催で今回が二十一回目。世界百五十五カ国の四万人が参加し、日本派遣団は総勢約千四百人。本県からは中学三年から高校二年のボーイスカウト九人と指導者計十二人が派遣される。

○「四年に一度の開催で今回が二十一回目。世界百五十五カ国の四万人が参加し、日本派遣団は総勢約千四百人。本県からは中学三年から高校二年のボーイスカウト九人と指導者計十二人が派遣される。

○「四年に一度の開催で今回が二十一回目。世界百五十五カ国の四万人が参加し、日本派遣団は総勢約千四百人。本県からは中学三年から高校二年のボーイスカウト九人と指導者計十二人が派遣される。

# ボーイスカウト栃木県連盟ホームページリニューアルしました！

■ 2007年 8月1日  
 栃木県連盟ホームページがリニューアルしました！



リニューアルしたホームページでは、コメント機能を持っています。写真や掲載内容についてのコメントもどしどしお送りください!!! お待ちしております！

ご注意  
 掲示板機能と違いますので、掲載についてはコメント内容を確認しております。

**なんたい写真館**

『機を計測！』2007年7月 No. 01

機を計測するというゲームをカブスカウトがしていました。自分が持っている一番長いもの一番長かったようです。機を計測するゲームは、何回も挑戦しながら計測したスカウトでした。

投稿日: 2007年7月25日

---

**トラックバック**

このエントリーのトラックバックURL:  
<http://www.scout-tochigi.jp/wordpress/?p=164>

※サイトオーナーが承認したトラックバックのみ表示されます。

---

**コメント**

機を計測するゲームのリーダーをしています。私の時でも、カブさんたちの発想にも驚かされています。大人じゃ思いつかないようなことをどんどん試しているのが、それが集まりの面白さでもあります(笑)。

投稿者: 1投稿者 | 2007年7月25日 14:08

---

**コメントを掲載**

※サイトオーナーが承認したコメントのみ表示されます。

名前:

# なんたい写真館より・・・「楽しい写真！」や「これは！という写真」大募集中！！

栃木県連機関紙「男体」や「県連ホームページ」に写真を掲載しませんか？ 只今、写真を大募集しています♪

■ なかよしの輪・・・

いつもは組で・・・  
 今日は卒隊式なので・・・  
 全員で♪と・・・  
 とても大きいな「なかよしの輪」になりました♪♪

■ 火起こし・・・

6月2日～3日のサバイバルキャンプで、マッチを使わない火起こしをやりました。やり方はさまざま、レンズを使う、紐でこする、弓切り式・・・結局3時間も粘っていましたが、煙が出ただけでした。また次回乞うご期待！（まだやんの～？）

- 【応募について】**
- ・応募されました写真の著作権は栃木県連に帰属し「男体」や「県連ホームページ」に写真を随時掲載します。
  - ・応募されました写真のご返却はありませんので、焼き増し等をお願いします。
  - ・応募写真の個人情報（顔等名札等）については、応募時に了承の確認を必ずとってください。
- 【応募方法】**
- ・郵便にて・・・県連事務局「なんたい写真館」宛にお送りください。
  - ・メールにて・・・nantai@scout-tochigi.jpへ画像添付にてお送りください。
- ※写真に対する題名やコメントも必ずお送りください。

■ カブ隊リーダー様へカブスカウトのチャレンジ章の写真博士の習得としてもご活用ください。

■ ボーイ隊リーダー様へスカウト技能ハイキングのC4項目としてもご活用ください。



∞∞∞∞∞∞∞∞シリーズ 「信仰のたしなみ」 No. 5 ∞∞∞∞∞∞∞∞

M O T T A I N A I

8月28日・29日と、宇都宮市で「第1回もったいない全国大会」という行事が開催されました。

この「もったいない」という言葉は、ケニア出身の環境保護活動家のワンガリ・マータイさんが日本を訪問したときに知り、環境問題を考える最もふさわしい言葉として、世界に広めたものですが、他の国の言語で該当するような言葉が見当たらなかったために、そのまま「MOTTA INAI」と表記して世界共通の言葉としたそうです。

「もったいない」という言葉は漢字で「勿体無い」と書きます。「勿体」は「物体」（もの）の意味で、物の重々しさ・威厳さを「無い」で否定することで、「妥当でない」から「自分には不相応である」さらに「本来あるべき姿ではない」と言葉の意味が広がっていったといわれています。

また、関連する言葉として「ありがたい」というのがありますが、漢字で「有難い」と書きます。勿体があらわす「物」に対して「現象」に関して用いますが、本来有ること（起こり得ること）が難しいと思われたことが実現したときに「有難い」といいます。

ところで、今年の夏も終わり、キャンプなどに行ってきたことでしょうか、そのなかでちょっと食事のことを思い出してみてください。

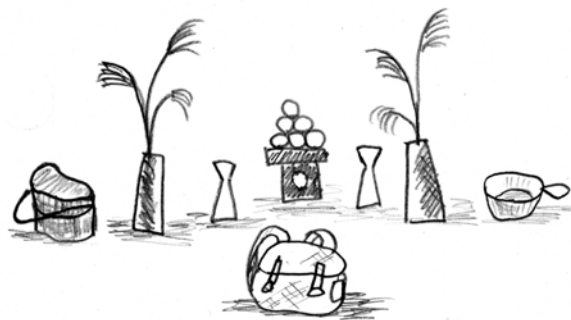
食べ物を作りすぎて、食べきれずに残したこと、食材を使い切れずに腐らせてしまったこと等なかったでしょうか？ どの材料をどう使ったら、より効率よく食べられるか。ということをよく考えて作らないと、もったいない事になってしまいますよ。

以前に集会でカップラーメンを食べ終わったスカウトが、「残ったスープをどこに捨てればいいですか？」と聞いてきたときに、「廃水に流せば水の汚染になるけれど、全部飲めば栄養になるよ」と言ったことがあります。

常日頃からラーメンに限らず食べ物は残さず食べるようにして、環境に配慮してきましたが、最近になって（年のせいもあり）やり過ぎると自分の体に良くないことが判ってきました。

何事も程々に、それぞれ自分の出来る範囲で「MOTTA INAI」を実践していくようにしましょう。

宇都宮第1団 BVS隊長 中臣 正範



《広告》

**Life Guard Management**

■東京海上日動火災 ■東京海上日動あんしん生命 ■富士火災

私達は、栃木県のボーイスカウト  
一人ひとりを見守っています。

有限会社 ライフガードマネジメント  
代表取締役 上久保 隆一

〒320-0057 宇都宮市中戸祭1-5-25  
TEL 028-650-4329 FAX 028-650-4328

**WILD-1**  
OUTDOOR LIFE STORE  
アウトドアライフストア ワイルドワン

営業時間 10:00 ~ 20:00 (火曜不定休)  
ワイルドワン 検索

ワイルドワンは、  
ボーイスカウト栃木県連盟を  
応援しています！

宇都宮駅前店 宇都宮市元今泉 4-14-8  
TEL.028-633-1182 ☎ 51台

小山店 小山市西城南 3-22-5  
TEL.0285-27-8400 ☎ 55台

西那須野店 那須塩原市五軒町 5-41  
TEL.0287-37-8811 ☎ 14台

ボーイスカウト栃木県連盟様ご優待特典  
こちらの広告を切り取ってお持ち下さい  
会計時レジにて5%オフいたします！

## 事務局の動き

【平成19年】

7月 7日 (土)	理事会
7月 15日 (日)	トレーニングチーム全体会議
7月 19日 (木)	21WSJ派遣団 知事表敬訪問
7月 19日 (木)	開発委員会
8月 4日 (土)	運営委員長会議
8月 11日 (土)	組織委員会
8月 17日 (金)	カブラリー実行委員会 (日光市)
8月 26日 (日)	東部地区指導者講習会 (宇都宮市)

### 今後の予定

9月 1日 (土)	理事会
9月 15日 (土)	カブラリー実行委員会 (日光市)
9月 15日 (土)	スカウティング活性化委員会
9月 16日 (日)	開発委員会 (真岡市)
9月 21日 (金) ~ 24 (月/祝)	WB研修所BS課程栃木24期 (那須烏山市・CCC)
9月 29日 (土)	コミッショナー合同会議 (真岡市)
9月 30日 (日)	スカウトセミナー (プロジェクト・ウェット) 環境教育セミナー (宇都宮市)
10月 6日 (土)	プログラム委員会
10月 6日 (土)	運営委員長会議
10月 7日 (日)	北部地区指導者講習会 (さくら市)
10月 13日 (土)	アジア学院見学会 (那須塩原市)
10月 13日 (土)	組織委員会
10月 21日 (日)	第38回 栃木県カブラリー (日光市)
11月 3日 (土)	スカウティング活性化委員会
11月 3日 (土)	理事会



作：をかもと ㊄

発行責任者 日本ボーイスカウト栃木県連盟理事長 森山一政 / 編集責任者 組織委員会委員長 中臣 正範 発行部数

2500部

日本ボーイスカウト栃木県連盟 機関紙

320-0043  
栃木県宇都宮市桜四丁目2番2号

電話 028(621)9800  
Fax 028(621)9800  
Email bstochig@m14.alpha-net.ne.jp  
info@scout-tochigi.jp



「男体」は地球環境にやさしい大豆を原料としたインク(SOY INK)を使用しています。

ホームページもぜひ見てください。  
<http://www.scout-tochigi.jp>